



ジャスティス

JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン

発行責任者 菅野一位
編集責任者 瀬戸信作

〒105-0021
東京都港区東新橋2-8-28
TEL(JR) 057-7333
TEL(NTT) 03-6452-9687

ホームページ検索
「JREユニオン」

コンセプト

自らを変える!! 明日を創る!!
イースト イノベーション!!



会社…本春闘の定額ベアだけが独り歩きをしていくことに問題は感じているが細々と組合への口出しは控えている。現在、定昇やベアに関しては何も決まっていない。
組合…2017春闘は4年連続のベアを期待できない。

2月28日、本部は、申第4号(2/13)で申し入れていた賃金引上げの要求について、第1回目の団体交渉を行った。
例年であれば、組合より提案の趣旨説明を行うところであるが、冒頭、会社の2017春闘に対する考え方を東労組のみに伝えたことに会社の公正公平、信義誠実の原則に対する労使間の取り扱いに疑義を質した。

JR東日本・2017春季生活闘争 (2/28始まる)

イーストユニオンは 会社の春闘方針に疑義を質す

「会社方針」2017年ベア実施の場合は定額で実施する方向性を東労組のみに伝えただけは、重大な信義違反!

組合…東労組との2/8の交渉で訴えた会社側の考え方をナゼ、全ての組合に、そして全社員に会社側の考えを速やかに明らかにしなかったのか、

特定の労組にだけ会社側の考え方を知らせる会社のスタンスそのものが強く残念でならない。
組合…会社は、公平に対応していると言ってもイーストユニオンは、はなはだ、公平であると感じられない。

その点が、会社の不誠実の表れだと私たちは感じて成らない。会社の言う、公平や誠実と言うのなら、会社のこの間の対応に問題は無いのか。感じないのか。
会社…組合の言う考えは誠実に受け止める。気持ちの問題や配慮の問題として今後、前向きに対応していく。相手の立場に立って考えて行動していく。

会社側に対して大きな不信感を感じている。この点の改善を強く訴える。
会社…最後に会社側から、早期の合意を得たい旨の考えと会社や日本の経済を取り巻く状況を簡単に説明された。また、公共性の強い企業として突出した春闘の妥結の配慮を訴えた。今後ともスケジュール感を持つて信義誠実に交渉を重ね合意を得られるよう、その点について協力を願うとした。

また、かわいたかのり参議院議員が連帯の挨拶に駆け付けた。

JR連合から政所政策部長が出席し、春闘や民主化闘争、取り巻く諸情勢等に関する取り組みが報告された。

2017春闘勝利・組織拡大総決起集会

中央本部は2月24日、都内に於いて関係者35名が集い春闘集会を開催した。

菅野中央執行委員長は、本春闘、安全の確立、民主化闘争、組織拡大等について、全力で行動していくこうと力強く訴えた。
決意表明は、神田新湯地本執行委員長、添田仙台地本事務局長、中村閑東地協常任委員が行った。

菅野中央執行委員長は、本春闘、安全の確立、民主化闘争、組織拡大等について、全力で行動していくこうと力強く訴えた。
決意表明は、神田新湯地本執行委員長、添田仙台地本事務局長、中村閑東地協常任委員が行った。

申第4号(2月13日) 2017賃金 引き上げの要求
1. 賃金引き上げ等につ

以上



以上

新潟地本から安全への誓い

〔羽越本線脱線事故〕

昨年12月17日、新潟地本では執行委員長以下8名で『羽越本線脱線事故』の現場慰霊碑へ献花に赴きました。当日は曇りでしたが風が強く、慰霊碑へ向かうジャンボタクシーが少しあおられ少なからず怖さも感じました。執行委員長の慰霊碑への献花ののち全員で手を合わせ、自らの仕事の責任の重さを再認識するとともに、安全に対する誓いを新たにしました。



〔飯山線・大根原踏切事故〕
2月10日、新潟地本設備部会では飯山線・森宮野原く足滝間の大根原踏



切事故現場へ献花に参りました。設備を保守する者は、安全で安心な鉄道をお客様にお届けするとともに、そこに働く者の安全も確保するという使命があります。二度と同



新潟地本第3回地方委員会

じ過ちを繰り返さないように誓いながら、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしました。設備部会は、安全に対する気持ちで新たに仕事に取り組むよう、毎年お参りをさせていただいております。

新潟地本第3回 定期地方委員会

新潟地本は2月25日、市立中央図書館『ほんぼーと』において第3回地本委員会を開催した。議長は新潟支部の江口委員が選出された。

「我々は愚直にルールを守り仕事し、理にかなった配分を求めていく」
「自身も同意した施策に対し、スト権を背景に交渉することに疑問を感じる」
「組合員の課題は明確である。勝負の年にしなければならぬ」と訴えた。

仙台地本第3回 定期地方委員会

仙台地本は2月20日、仙台市内のホテルレオパレス仙台において第3回地本委員会を開催した。議長は宮城県分会の品



川委員が選出された。
水間執行委員長は、私たちの第一の出発点である「国鉄倒産」の歴史を紐解くとともに、新会社発足の原点を忘れることなく、お客さま第一、地域社会への貢献など高い期待に込めていかなければならない。併せて、2017年春季生活改善闘争、民主闘争と組織拡大、安全の確立、仙台駅の出札委託問題等について訴えた。

関東地協 定期委員会
関東地協は2月25日、本部会議室に於いて地協定期委員会を開催した。議長は大和田委員が選出された。

人と人とのつながりを求め 一瞬の表情を切り撮る

趣味の域を超える写真愛好家、仙台地本の相田勝仁さんがJR連合の機関誌「てるみに」NO・40の「匠」の欄に掲載されることが決まった。

匠・紹介



相田さんの人柄や写真愛好家としてはまり込んだ経緯、または、フォトコンテストでの各受賞とそのエピソードを紹介しています。是非、前向きに一読をお願いします。



題名：前進

田さんは、写真(作品)の中にある物語を如何にして引き出すのかを自問自答しながら写真の魅力や写真の持っている力を多くの方に感じてもらうたいと暗中模索しながら色々のフォトコンテストに無理をしない範囲で応募を続けています。

秋山地協議長は、「安全、2017春闘、民主化闘争、組織拡大について全組合員が一致団結して行動していこうと訴えた。」